

## 【1】実践事例

## 【2】タイトル：メールを使った俳句鑑賞

## 【3】概要

### 展開

- \* コミュニケーションツールとしてのメールの特質を理解する。(6時間)
  - ・ パスワードの扱い
  - ・ メールソフトの使い方
  - ・ モラルについて
- \* 秋の俳句三首を読み、自分なりに情景を思い浮かべて表現したものをメールで送信する。(2時間)
  - ・ 他の生徒が送信したものを読んで鑑賞の参考にする
- \* 冬の俳句三首を読み、自分なりに情景を思い浮かべて表現したものをメールで送信する。(2時間)
  - ・ 他の生徒が送信したものを読んで鑑賞の参考にする
- \* 送信された各生徒の情景説明(鑑賞)をもとに、さらに解説を加えながら鑑賞を深める。(6時間)
  - ・ 教室で指導

### 事前準備

- \* 校内サラスの生徒分のメールアカウントを用意。
- \* クラスの代表アドレスを用意し、そのアドレスに送信したメールは全員に転送されるようにする。

## 【4】キーワード：俳句鑑賞、電子メール

## 【5】学校区分：高等学校 定時制 普通科

## 【6】学年：1 学年

## 【7】教科：国語

## 【8】学校名(URL)：千葉県立野田高等学校 (<http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/>)

## 【9】授業者名：清水俊一

## 【10】授業実施期間(月日, 時間)：9月2日～9月30日 16時間

## 【11】単元・題材名：短歌と俳句春の月(俳句十五句)「高校生の国語 I」明治書院

## 【12】単元の目標

- \* 俳句を自分の力で鑑賞する態度を養う。
- \* 表現活動を主とし他者の意見を参考にすることで鑑賞を深めるとともに、表現力や語彙も深める。
- \* 情景の描写を主としながら作者の感情も同時に読み込む俳句の特徴を理解する。

## 【13】メディア活用の意義(【18】を参照)

- ・ 即時的な効果
- ・ インタラクティブな活動
- ・ フラットな学習環境

## 【14】メディア環境

- a) 使用機種：Mac LC520
- b) 稼働環境
  1. DA128 の専用線でインターネット接続
  2. 校内に UNIX サーバ(Web, mail, DNS, proxy etc.)
  3. 校内 LAN
- c) 利用ソフト
  1. NCSA Telnet(フリーソフト)
  2. pine (UNIX 上のメールソフト)

## 【15】単元の指導計画

指導計画(時間)	留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>* コミュニケーションツールとしてのメールの特質を理解する。(6時間)</li> <li>* 秋の俳句三首を読み、自分なりに情景を思い浮かべて表現したものをメールで送信する。(2時間)</li> <li>* 冬の俳句三首を読み、自分なりに情景を思い浮かべて表現したものをメールで送信する。(2時間)</li> <li>* 送信された各生徒の情景説明(鑑賞)をもとに、さらに解説を加えながら鑑賞を深める。(6時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* パスワードの扱いに注意させる。</li> <li>* メールソフトの使いかただけでなく、マナーについても指導する。</li> <li>* 各句の俳句の情景については事前に説明しない。</li> <li>* 送信されたメールに説明された情景について補足を加え、これもメールで流す。</li> <li>* 他の生徒のメールを参考にするように。できれば返信を書いて意見交換するように。</li> <li>* 流れたメールからいくつか選んでプリントにし、それをもとに進める。</li> <li>* 各生徒間の意見交換ができるように。</li> </ul>

【16】授業展開(7時間めの例)

学習活動・内容	留意点(活動への働きかけ・支援等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 課題メールを読む。</li> <li>* 三首の句について景色情景を書きメールを送信する。</li> <li>* 送信されたメールに、指導者が補足したメールを読ませる。</li> <li>* 他の生徒の意見も読み、さらに自分の意見に修正を加えて送信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 事前に課題メールを代表アドレスに送信しておく。</li> <li>* 景色/情景の説明を書くことを指示。思い描いたままに。</li> <li>* 生徒が送信したメールに補足を加え、ヒントとして指導を加える。</li> </ul>

【17】学習活動の実際

コンピュータ室で

電子メールの使い方については、あらかじめ校内 Web に載せておいたドキュメントにしたがって練習させた。

メールのマナーについても触れたあと、本来の国語の授業としての展開に移った。

あらかじめ、代表アドレスを発信元にした課題メールを出しておく。

生徒はそのメールに返信する形で、それぞれの情景描写の作文を送信することになる。

課題メール1

Subject: 俳句鑑賞

次の俳句は、教科書 P137 に載っているものです。

それぞれ、どんな景色/情景が表現されているか、自分の言葉で書いて返信して下さい。

- 1 金剛の露ひとつぶや石の上川端茅舎(かわばたぼうしゃ)  
金剛...金剛石(ダイヤモンド)の略

以下略

## 授業者からの解説付き返信

Subject: Re: 俳句鑑賞

どう書いたらいいかわからない、という人が多いようなので、ちょっと例として、生徒1君と生徒2君が書いてくれたのに、私が返事したのをお見せしましょう。

参考にしてください。

From: seito1

Subject: Re: 俳句鑑賞

Date: Sat, 18 Sep 1999 18:03:19 +0900 (JST)

>> 1 金剛の露ひとつぶや石の上川端茅舎

>> 金剛...金剛石(ダイヤモンド)の略

>

> 季語 露

>露の日の雨は一粒一粒が金剛石のようなものも

>あれば、石のようなものもあるということだと

>思う。

じゃ、雨が降ってるんですか?(^-^)

(時間などもわかるんだけどなあ.....)

以下略

生徒はそれぞれに指定された俳句に詠み込まれた情景を思い浮かべ、文章として説明したものをクラスの代表アドレスに送信した。送信されたメールはすぐにクーバに当該クラスの生徒全員に送信され、鑑賞文を書きかけの生徒もそれを参考にしながら自分の鑑賞文を修正できた。

指導教員としては送信された他者の意見に対して、生徒同士で別の立場から意見をのべるような場面を期待してはいたのだが、生徒はそれぞれ自分の鑑賞文をとにかく提出する(メールする)のに精いっぱいだったようで、他の生徒の意見にコメントをつける余裕のある生徒はいなかった。

なので、早くに鑑賞文を送信した生徒に対しては、指導教員が返信する形で解説をつけた。もちろんそれも他の生徒の元に同時に送信されるので、これも自分が書きかけの鑑賞文の参考にできたようである。

### 教室で

メールを使うことがこの授業の主目的ではなかったので、ある程度提出が揃ったところでコンピュータ室での活動を終え、教室での学習に移った。

生徒がメールで書いたものの中からいくつかプリントにリストアップし、それぞれ、どうしてこういう情景が思い浮かんだか説明させ、互いに意見を出させながら鑑賞を深めた。

最初から講義形式で展開するより、生徒の多様な意見も出やすく、その分理解も進んだようである。

### 【18】授業の成果(生徒の反応、メディア活用の効果等)

#### ・即時的な効果

それぞれの生徒が書いたものをすぐに他の生徒が目にするようになる。ノートやプリントに書かせて提出させるやり方だと生徒の書いた意見をその場ですぐ返すことはほとんどできないだろう。一旦職員室に持ち帰って教員が整理し、次の授業で公表・発表させるというのが一般的。次の授業時間までのインターバルなしに意見を活用できるので授業の流れがダイナミックになる。

実際、今回のこの授業でも先に書き上げて送信したものが全員に新着メールとしてアナウンスされ

たので、興味をもって見ている生徒が多かったし、その都度、その内容について教員が注意をうながすために話したことが生徒の耳に入っていったようだ。

#### ・インタラクティブな活動

生徒同士で送信された意見に別の意見をつけることができるし(残念ながら、今回はこういう動きは出なかった。時間もなかったのでそれぞれが自分の鑑賞文を書くのに精いっぱいだった)、それにもまして、教員が一人の生徒のメールに指導を加えて返信したものを、同時に全員が目にする事ができたので、それをさらに参考にしながら書きかけの鑑賞文を修正することができた。

#### ・フラットな学習環境

この種の生徒の活動を主とした授業を展開する場合、たとえば提出が早いもののがいいとされたり、間違いのないよう無難にまとめてあるものが例示として選ばれたりする傾向がある。

しかし、こういったメーリングリストを使った展開だと一対一のやり取りが他の生徒の目にする事になるので、必ずしも早く提出したものがよいとされるわけではない(かえって、他の生徒の参考のためにもより詳しく書き直すよう要求されたりする)、鑑賞力のある生徒にはマンツーマンでさらに深いところまで考えるよう指示もできる。

そこにはたとえば教員の側である程度意見を選んでリストアップして他の生徒に提示するという動きができないだけ、評価の入る余地がない。全生徒がフラットなところで活動できる。

#### 【19】ワンポイントアドバイス(今後の課題等)

- \* 甲乙取り混ぜた雑多な意見がどんどん新着メールとして入ってくるので、それを追いかけて読んでいる時間がとれない。どれを参考にしていいいかわからなくなる。
- \* キーボード操作に慣れたものが早く提出できる。ただし、それが鑑賞の深さと比例するとは言えない。
- \* キーボード操作やメールの扱いに慣れていない生徒は活動から取り残される傾向がある。

#### 【20】参考資料・参考URL など(協力者、協力団体含む)

メールを使った俳句鑑賞(国語)

[http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/others/h11\\_rep/haiku.html](http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/others/h11_rep/haiku.html)

「電子メールの使い方」

<http://www.noda-h.ed.jp/howtomail/index.html>

「チェーンメール(チェーンレター)の具体例」(早稲田大学メディアネットワークセンター)

<http://www.waseda.ac.jp/mnc/GUIDE/MANNERS/chain-mail.html#pattern>